

No.63

■発行/奈良市議会
■編集/奈良市議会だより
編集委員会

奈良市議会だより



〒630-8580 奈良市二条大路南1-1-1
奈良市議会事務局
☎(0742)34-4734



6月定例会

議長に山本清氏を選出

副議長に岡本志郎氏 = 議会役員を改選 =

市民の皆様には、平素から、市議会の活動に対しまして、格段のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

わが国は地方分権の推進により、本格的な地方の時代を迎えようとしており、奈良市でも、中核市への移行に向け、「自分たちのまちは自分たちが作っていく」との市民参加によるまちづくりを今年度の重要課題として、明日を見据えた市政を展開されていますが、奈良らしい独創性のあるまちを築き上げていくためには、市民皆様のまちづくりに対する強い熱意が不可欠であります。

市議会といたしましても、世界遺産をはじめ多くの文化財を有する日本のふるさと奈良が、その伝統や文化との調和を保ちながら、住民本位の住みよいまちとなるよう努めると共に、市民の皆様に変えられる議会を目指し、尽力する決意でございます。なお一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

就任のあいさつ



議長 山本 清



副議長 岡本 志郎

命の大切さなど 豊かな人間性を育てる

問 少年による衝撃的な事件が相次いでいる。少年たちは、命の尊厳や他人への思いやりという最も大切なものを身につけぬまま成長しているのではないか。青少年の健全育成は人格形成にとって大変重要である。教育のあり方をどのように考えているか。

答 青少年の異常な犯罪には大変憂慮している。学校においては、命の大切さ、他人への思いやりなど豊かな人間性を育てることが強く求められている。福祉体験や自然体

教育

質問と答

本会議

青少年の健全育成など 教育行政に議論集中

六月二十六日、二十七日の本会議では、八人の議員(うち代表質問六人)が質疑・一般質問を行いました。今定例会では、青少年の健全育成や公民館運営の財団化など教育行政に質問が集中しました。以下は、本会議での質問と答弁の要旨です。

験学習などを取り入れ、道徳的実践力の育成に努めることが大切と考えている。

歴史学習の事項 全面改訂予定

問 現在の歴史教科書の自虐的史観が、自分の国に誇りを持ってない子供を育てている。自虐的史観をどのようにとらえているのか、新学習指導要領にそぐわない教科書が検定を通過した場合の教育委員会の対応は。

答 自虐的史観とは、新聞によれば、戦後歴史教育が、自国の歴史に対する誇りを欠き、未来を展望する知恵と勇気を与えるものではなかったとあるが、近現代史における歴史的考察を確かなものとして判断しなければならない。平成十四年度実施の新学習指導要領の社会科では、我が国の歴史や伝統を大切にし、国を愛する心情や国民としての自覚を育てることなどが示されている。十四年度から使用の教科書はこれらの趣旨を踏

まえ、歴史学習に関する事項も全面改訂されると考えている。さらに採択手順の適正を期して決定したい。

現状でよいのか 国旗、国歌、道徳教育

問 学習指導要領に決められている入学式や卒業式での国旗掲揚、国歌斉唱が、実施されていない学校がある。また、道徳の時間が、国で定める年間標準授業時数の三十五時間に満たない学校がある。子供たちにルールを教える教育現場で、国で決められた指導がなされていない実態でよいのか。

答 今年度の入学式では、小・中学校六十三校中、国旗掲揚は五十九校、国歌斉唱は



国旗が掲げられての小学校入学式

四十一校が実施している。道徳教育は、六十三校の全学級の八六・四%がおおむね年間標準授業時数の実施となっている。この実態を大変重く受け

止めている。今後も、十分論議を尽くし、各学校で、学習指導要領の趣旨が十分理解されるよう指導したい。

児童生徒の 心の相談員

問 子供からの危険信号をキャッチする場所である学校への心の相談員、ふれあいフレンドの配置状況は。

答 児童生徒への心のケアについては、臨床心理士等スクールカウンセラーを小学校一校、中学校四校に派遣している。また、市内十六中学校に生徒の学校生活を支援する心の教室相談員を、三十四小学校には児童と親しく接しながら悩みを聞いたりして、児童の学校生活を支援するふれあいフレンドを配置している。ふれあいフレンドは半年

間を限度として雇用されているが、継続して実施されるよう県を通じて国に拡大を働きかけていきたい。

夜間中学校の意義と 就学への公的支援は

問 夜間中学校の意義をどう認識し、市民への啓発はどうしているのか。また全身性障害者の夜間中学への就学、通学についての公的支援は。

答 様々な理由や原因で、義務教育を修了できなかった人たちの中学校を卒業したいという願いにこたえるためにも、春日中学校夜間学級の門戸は閉ざさない。生徒募集については、県政だよりやしみ

観光

支援体制を充実 コンベンション誘致

問 世界遺産登録がなり、



会議参加者でにぎわう「なら100年会館」エントモロジー学会、7月6日(全国看観学会)

んだよりへの掲載、各出張所などへの募集ポスターの掲示等で啓発を図っている。通学介助の経費負担は、県等とともに検討したい。

公民館運営の財団化 有料化は考えていない

問 公民館運営が財団化されてもその後の予算は大変厳しく有料化につながるのでは。

答 財団化は、利用者が利用しやすく、利用者にはアドバンスできる体制を考えている

2議員に表彰状 全国市議会議長会

五月三十日、東京で開かれた第七十六回全国市議会

議長会定期総会で、次の二人が表彰を受けました。
議員二十五年以上特別表彰 浅川清二議員
議員十五年以上表彰 小林照代議員

ので職員増も図らなければならない。それに係る費用などで予算が若干上回ると思うが、心配していただかないような運営をしたい。財団化にあたって、公民館の有料化の話は市からも公民館からも出したことはない。

100年会館やホテルなど宿泊施設や会場が整いつつある。経済効果が年間数十億円になると見られるコンベンション誘致のソフト面での対策は。

答 世界遺産都市・奈良こそ国際会議都市と呼ぶにふさわしい。その国の文化に触れられるのが、国際会議開催地決

定の重要なポイントとなる。このため、施設の充実、国際会議助成金制度や開催準備貸付金制度の活用、会議のノウハウの提供、会議後の視察研修などの立案・手配など、きめ細かなソフト面の支援体制の充実が重要である。今後も、積極的に誘致を図り、観光による経済効果を高めたい。

人事案件

◇監査委員 吉田肇氏(任期満了による再任)及び森田一成氏(議員から選任する委員)の選任に同意
◇人権擁護委員候補者 三木潤子氏の推薦に同意

意見書

今定例会で可決し、政府に提出した意見書の要旨は次のとおりです。
▽道路特定財源制度の堅持等に関する意見書
政府税制調査会において道路特定財源の一般財源化が議論されている。道路特定財源制度を堅持し、地方の道路財源を確保し、市町村道から高規格道路に至る道路網の整備を強く要望する。

環境

搬入管理マニュアルを作成 事業系ごみの分別徹底で

問 家庭ごみの九種分別収集は成果が上がっているが、全ごみ量の四〇%を占める事業系ごみの分別が不徹底である。事業所、業者の指導にどう取り組むのか。

答 事業系ごみの減量と分別の徹底には、排出する事業所と収集運搬する許可業者の協力が不可欠である。今年度も引き続き事業所を対象とした学習会や収集運搬業者に対する分別指導、説明会等を開

催する。
また、搬入管理マニュアルの作成の検討等を清掃業務審議会の意見を取り入れ行う。分別搬入の受け皿となる工場敷地内での仮置き場の整備も早期に着工し対応する。

水源流域 森林保全対策を検討

問 平成十一年度に市水道

局が実施した森林保全対策調査の結果を受けて、水源流域の森林保全にどう取り組むのか。

答 森林保全対策調査により、市内の水源流域の森林は、布目ダムの有効貯水量に匹敵する約千五百万立方メートルの保水力を持つことがわかった。市の水源流域には山添村及び郡部村の森林も含まれているので、その実態を把握した上で森林保全対策を検討する。

今後は、布目・白砂川水質協議会で実態調査を実施し、森林の植生等の現況を把握したい。その結果を受け、それぞれの森林整備計画との整合性を図りながら森林保全対策を検討したい。

行政姿勢

行政監視の第三者機関 設置を検討していく

問 川崎市のオンブズマン制度、東京都中野区の福祉オンブズマン制度など、行政府型のオンブズマン制度を取り入れる考えは。

答 調査員は、この期間は非常勤の国家公務員に任命されるため、守秘義務が生じる。また、調査票は添付のシールで封入して提出できる。調査員の説明会等において

プライバシー侵害不安 今秋の国勢調査

問 今秋に予定される国勢調査の項目の中には、プライバシーが漏れた場合、不利益や差別的対応を招きかねない項目がある。市民のプライバシー侵害の不安への対処は。

答 調査員は、この期間は非常勤の国家公務員に任命されるため、守秘義務が生じる。また、調査票は添付のシールで封入して提出できる。調査員の説明会等において

こうした点を十分に指導していきたい。

借入金2318億円に 市財政を大きく圧迫

問 奈良市の平成十二年度末の借入金は二千三百十八億円となる見込みである。これは十二年度市税収入五百八十三億円の約四倍で、市財政を大きく圧迫している。借入金

都市整備

京阪奈新線建設事業 用地73%確保

問 京阪奈新線建設事業の今後の見通しは。登美ヶ丘駅の建設予定地周辺は生駒市との境界が入り組んでいるが、駅周辺の整備をどう進めるか。

答 平成十年九月に奈良生駒高速鉄道株式会社が第三七

問 都市部におけるバス交通の充実発展に向け、オムニバスタウン構想の早期実現を

交通対策

バス優先走行 システムを整備

図り、バス専用レーンの設置、バス優先信号機の導入などを図るべきでは。

答 都市基盤の整備を図るための財源として地方債を活用しているが、借入金残高の増加は、将来の公債費負担の増加を招き、起債制限比率が

クターとして鉄道事業免許を取得して以来、用地は全体の約七三%を確保された。今年度後半から車庫部分の造成工事、十三年度からトンネル工事や駅舎工事等の本格的な建設工事を行い、十七年十月開



平成17年10月開業予定の京阪奈新線路線概略

答 都市部におけるバス交通の充実・発展を図るためには、バスの運行時間の短縮や定時運行が必要となる。市内循環線や県道木津横田線等においても、主要交差点に光学式車両感知器を設置し、バスの接近を読み取り、青信号を延長して優先的に走行させる公共車両優先システム(P-T-PS)の整備を図っていきたい。

(オムニバスタウン構想Ⅱバスの社会的意義を最大限に発揮したまちづくりを促進し、交通事故・渋滞・環境悪化等の問題を解決し、安全で暮らしよい地域の実現を図る。)

介護保険特別委員会 審査終わる

介護保険制度の実施に向け、あらゆる角度から調査研究するため昨年六月定例会で設置した介護保険特別委員会は、今年四月一日に制度が実施されましたので五月二十四日の委員会で審査を終了しました。委員会は延べ五回開催し、理事者から準備スケジュール、要介護認定申請受付状況などの報告がありました。委員からは一次判定ソフトの見

直し、保険料徴収、介護サービスの基盤整備などについて質問がありました。これら委員会審査の概要は六月二十一日の本会議で報告がありました。

議会の情報を公開

奈良市議会では、情報公開を実施しています。開示申請に当たつての詳しいことは、議会事務局(☎三四一四七三三四)までお問い合わせください。

その他の主な質問事項

- 災害時のFM緊急放送
- 安全な自転車利用ができる歩道整備
- 奈良公園内の歩道整備
- 市庁舎西側の渋滞対策
- 猿沢池周辺の照明
- 中ノ川の土地利用
- ならまちセンター市民ホールの防音対策
- 国勢調査非協力者への対応
- 史跡朱雀大路の復元計画
- 平成十一年度の収支状況
- 中核市移行による保健所問題
- 財産区有財産の用途廃止
- 人札制度
- 高齢者福祉と介護保険
- 乳幼児医療費助成制度
- タイオキシン削減対策
- 全市分別収集の実施状況
- ごみ収集の有料化
- 循環型社会の実現
- 産業廃棄物の循環促進
- ごみ最終処分場の対策
- その他プラスチックの再資源化
- 家庭用ごみ処理機の購入助成
- 環境清美工場の二度計り
- 学校給食の調理用手袋
- 平城遷都祭、なら燈花会
- ユニバーサルスタジアム・ジャパンと奈良観光
- 主要駅周辺拠点整備、同和対策事業
- 街路樹等の見直し
- 浸水対策
- 教育改革への取り組み
- 就学援助の認定
- 教育施設の予算
- 教育水準の向上
- 少人数学級の取り入れ
- 教育勸語

新しい議会の構成

経済水道委員会



土田 敏朗
市議会情報公開審査会委員
(政友会)



山口 誠
中核市検討特別委員長
(民主市民連合幹事長)



山口 裕司
副委員長
市議会情報公開審査会委員
(日本共産党市議団)



金野 秀一
委員長
市議会情報公開審査会委員
(明営党)



吉田 文彦
(交)



上原 嵩
中核市検討特別委員長
(交)



木村 義秀
市議会情報公開審査会委員
(交)



高橋 克己
市議会情報公開審査会委員
(明営党)



和田 晴夫
(政友会)



横田 利孝
市議会情報公開審査会委員
(日本共産党市議団幹事長)



松石 聖一
市議会情報公開審査会委員
(社会民主党市議団幹事長)

総務財政委員会



池田 慎久
市議会情報公開審査会委員
(交)



松岡 克彦
市議会情報公開審査会委員
(日本共産党市議団)



矢野 兵治
副委員長
(無所属)



堀田 征男
委員長
中核市検討特別委員
(政友会)



岡本 志郎
副委員長
(明営党)



山本 清長
市議会情報公開審査会委員
(交)



峠 宏明
中核市検討特別委員
市議会情報公開審査会委員
(交)



森田 一成
中核市検討特別委員
市議会情報公開審査会委員
(政友会)



横井 健二
(政友会幹事長)



浅川 清一
中核市検討特別委員
市議会情報公開審査会委員
(交)



小林 照代
中核市検討特別委員
市議会情報公開審査会委員
(日本共産党市議団)

企画建設委員会



大橋 雪子
市議会情報公開審査会委員
(明営党)



松村 和夫
中核市検討特別委員
市議会情報公開審査会委員
(民主市民連合)



中村 重信
副委員長
市議会情報公開審査会委員
(政友会)



矢追 勇夫
委員長
市議会情報公開審査会委員
(交)



森 純
(無所属)



西本 直
中核市検討特別委員
市議会情報公開審査会委員
(日本共産党市議団)



岡田 佐代子
市議会情報公開審査会委員
(社会民主党市議団)



大井 国崇
中核市検討特別委員
(明営党)

教育厚生委員会



中木 良夫
市議会情報公開審査会委員
(政友会)



藤本 孝幸
市議会情報公開審査会委員
(民主市民連合)



大谷 賢
副委員長
中核市検討特別委員
(無所属)



中村 篤子
委員長
(日本共産党市議団)



黒川 恵三
中核市検討特別委員
市議会情報公開審査会委員
(社会民主党市議団)



蔵之上 政春
市議会情報公開審査会委員
(政友会)



松田 末作
市議会情報公開審査会委員
(交)



高杉 美根子
市議会情報公開審査会委員
(明営党)



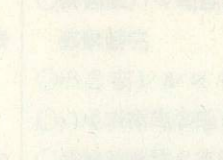
橋本 和信
中核市検討特別委員
(政友会)



米澤 保
(交)



日和 佐穂甫
中核市検討特別委員
(日本共産党市議団)



中西 義次
(無所属)



船越 義治
中核市検討特別委員
市議会情報公開審査会委員
(明営党)



原 栄子
市議会情報公開審査会委員
(日本共産党市議団)

() 内は所属会派名